

外観



1924年に誕生した総座席数2550席の宝塚大劇場は、毎年100万人以上を動員する宝塚歌劇の専用劇場。隣接する小劇場「宝塚パウホール」は1978年に開場し、若手スターの登竜門としての役割も担う。

トイレ 入口



トイレ入口には、設備がひと目でわかる配置図を掲示。また、多機能トイレの入口にも、トイレの機能がわかるサインを表示している。

男性トイレ 全体



女性トイレのスペースを拡大したため、男性トイレは必要な器具をコンパクトな空間にまとめている。

男性トイレ 大便器ブース



大便器ブースには、小さなお子様連れに配慮してベビーチェアを完備している。

女性トイレ 入口



明るく清潔感のある白を基調としたインテリア。男女トイレのサインは、宝塚歌劇をイメージしたオリジナルのデザインを採用している。

女性トイレ 大便器ブース



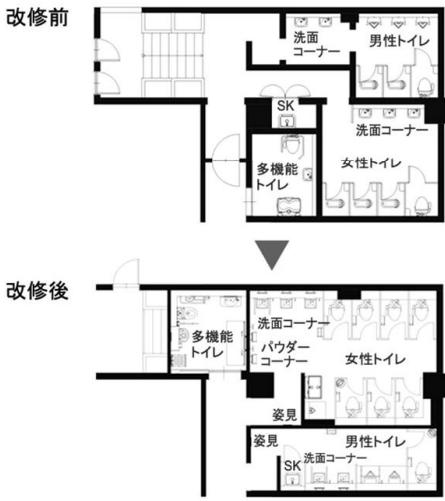
すべての大便器ブースにウォシュレットと縦手すりを設置している。ウォシュレットのリモコンは、操作ボタンが大きく高齢者も使いやすいうらくらくリモコンを採用。

多機能トイレ



車いす使用者や小さなお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな使用者を想定して、オストメイト対応トイレパック・収納式多目的シート・フィッティングボードなどを完備している。

図面



女性トイレ 洗面コーナー



前出寸法がコンパクトで、鏡に近づきやすい壁掛ハイバック洗面器を採用。荷物配慮として棚とフックを設置している。

女性トイレ パウダー・キッズコーナー



身だしなみのチェックができる全身鏡を設置したパウダーコーナー。傘や荷物をかけられるように、フックを取り付けている。大便器ブースの隣に、幼児用小便器とベビーシートを備えたキッズコーナーも完備。

建築概要

名 称	宝塚大劇場
所 在 地	兵庫県宝塚市栄町1-1-57
施 主	阪急電鉄株式会社
設 計	阪急設計コンサルタント株式会社
施 工	株式会社森組
竣 工 年 月	(改修)2012年10月

水まわりの特長

<改修の経緯>
宝塚大劇場では、2012年から段階的に改修工事を行っている。今回は、設備の老朽化や汚れ、においなどの問題を抱えていた。宝塚大劇場に隣接する小劇場「宝塚パウホール」に付随するトイレの改修工事を実施した。

<トイレの特長>
女性のお客様が多いため、既存の通路部分を含めて男女トイレのレイアウトを全面的に見直し、女性トイレのスペースを拡張。女性トイレの大便器ブースを改修前の4ヶ所から7ヶ所に増設し、パウダーコーナーも新しく設けた。大便器はすべてウォシュレット付きの洋式便器に変更し、小さなお子様連れに配慮して、男女トイレともベビーチェア付きの大便器ブースを1ヶ所設置。女性トイレにはキッズコーナーも備えている。また、多機能トイレは、さまざまな使用者を想定して、オストメイト対応トイレパック・収納式多目的シート・フィッティングボードなどを完備している。

<改修後の声>
お客様やスタッフから、「以前に比べてきれいになり、使いやすくなった」と喜ばれている。